令和6年度 第2回技術研修会のご案内

日　　時	令和６年９月１３日（金）１３：３０～１６：３０
会　　場	アバンセホール（佐賀県立生涯学習センター） （佐賀市天神３丁目２－１１ TEL 0952-26-0011）
主　　催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後　　援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
研修項目	(1) １３：４０～１５：００ 「佐賀駅周辺整備事業の概要について」 佐賀市　都市戦略部　佐賀駅周辺振興室 室長　　西　洋徳　　氏

佐賀駅の高架化移転事業から約50年が経過し、佐賀駅周辺エリアでは、業務系施設等の立地が進んだほか、近年は集合住宅の建設が進み、定住人口が増加している。また、令和6年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、SAGAサンライズパークにはアリーナの建設が計画された。このように、佐賀駅周辺エリアを取り巻く情勢が大きく変化していることから、駅前広場や周辺道路等を再整備し、街の玄関口としての魅力向上を図ることとした。ここでは、平成31年から5か年にわたる都市再生整備計画事業で取り組んできた事業も含めて紹介する。

(2) １５：１０～１６：３０
「固結工法による軟弱地盤上の道路盛土～調査・設計・施工・維持」
盛土委員会　委員長／佐賀大学名誉教授
三浦　哲彦　氏

軟弱地盤上の道路建設では不同沈下対策、引込み沈下対策が肝要である。低盛土では、沈下原因は盛土＋交通荷重であると判断され、軽交通には浅層改良(スラブ)で対応可能、重交通にはスラブ＋深層改良（コラム）が有効である。中高盛土の沈下原因は盛土荷重が主であり、対処はスラブ＋コラムが有効である。スラブとコラムの固化を確実にするには阻害要因を除くことが重要で、高有機質土、固化材～粘土の相性に配慮する必要がある。
新たな品質管理に針貫入試験と促進養生法を提案した。地質、長寿命化、トータルコストミニマム、カーボンニュートラルにも留意して頂きたい。

対 象 者	地方公共団体等職員、建設事業関係者（県内優先）、一般の方（大学生以上）
定　　員	３００名
参 加 料	無　料
申込方法	当機構のホームページ（https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html） よりお申し込みください。１社につき３名まで受け付けます。 『研修情報』→『技術研修会』→『令和6年度第2回技術研修会申込』をクリック！
申込期間	令和6年8月19日(月)14:00～令和6年8月30日(金)17:00 （定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施。） 令和6年9月2日(月)14:00～令和6年9月6日(金)17:00 予定
問合せ先	（公財）佐賀県建設技術支援機構　技術部　企画情報課 ＴＥＬ ０９５２－９７－５５９６
そ の 他	(1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。 (2)座席は全席指定席となります。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS、(一社)建設コンサルタンツ協会CPDの認定プログラムに申請しています。